

本時のねらい

組曲から「象」「白鳥」など数曲を聴き、感じ取った旋律の特徴などから、どの動物を表しているか話し合ったり動物を表現するためのしかけ（工夫）を考えたりする活動を通して、曲想と旋律の特徴との関わりについて気付くことができるようにする。

評価規準

- ◆ 曲想やその変化と旋律の特徴との関わりに興味・関心をもち、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）
- ◆ 曲想と旋律の特徴や速度との関わりに気付いている。（知識・技能）

聴いて 感じて 考える 子どもの学び



- ◆ 「感想の言葉」や「音楽用語」の日常的な使用
- ◆ 図形楽譜の活用
- ◆ 曲想と音楽の要素の関係を捉えて書く活動 等

音楽の授業づくりに関する指導の工夫
（感想の言葉の活用等）

旋律の特徴を感じ取りながら聴こう



「象」「カンガルー」「めんどりとおんどり」の旋律の特徴を感じ取りながら聴く



聴いたことある！



「白鳥」を聴く



サン＝サーンスは「白鳥」を表現するため、音楽にどんなしかけ（工夫）をしたのか話し合う

サン＝サーンスさんは、音程やリズムに気を付けて作曲したのが分かりました



図形楽譜を手掛かりにして考える



実際の演奏を聴きながら、本時の学びを書く

